

ストレス潰瘍予防プロトコルの導入と評価に関する研究

1. 研究の対象

2020.10～2025.7 の期間で、EICU に入室した患者

2. 研究目的・方法

集中治療領域に入院時には高度侵襲に伴うストレスによる胃潰瘍などが発生することが知られています。そのため予防的にプロトンポンプ阻害薬などの消化性潰瘍治療薬を投与しています。当院の EICU では、ストレス潰瘍予防に関する予防薬の導入基準や選択薬剤などの取り決め（プロトコル）を作成しており、プロトコルを参考に診療を行っています。本研究では、ストレス潰瘍予防に関するプロトコルを導入したことによる効果を調査することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者カルテより以下の情報を利用します。

性別、身長、体重、血小板、PT-INR、APTT、血清クレアチニン値、トランスアミナーゼ、SOFA スコア、カテコラミンの使用、人工呼吸器管理の有無、抗凝固薬及び抗血小板薬、NSAIDs の併用、入室期間、クロストリジウム腸炎の発生、誤嚥性肺炎の発生、入院後の上部消化管出血の発生、ストレス潰瘍を予防するために投与された薬剤の種類・価格・投与期間

4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

研究又は他の研究機関への提供の開始予定日

倫理委員会承認後～2027.12.31

外国にある者へ試料・情報を提供する場合の取扱いに関する関連情報について

該当しません

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 薬剤部門 研究責任者 深津祥央

りんくう総合医療センター 薬剤部門 小林洋平

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

(2023 年 7 月 4 日)

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号：072-469-3111（代表）

担当者：薬剤部門 小林洋平

研究責任者：りんくう総合医療センター 薬剤部門 深津祥央

(2023 年 7 月 4 日)